

授業科目 情報処理 I

【担当教員名】 濱野 強 寺島 和浩	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・スポ・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修・必修・必修・必修・必修・必修・必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>および<一般目標：G I O>】

情報処理 I・II では、パーソナルコンピュータ（以下PC）の基本的な操作方法、ネットワークの知識・利用技術、そして情報社会の倫理としての情報利用者のモラルを含めた総合的な情報リテラシー教育を目的としている。オペレーションシステムの基本操作に習熟し、ワードプロセッサ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの応用ソフトの基本的な操作方法の習得し、最終的にはPCを用いて卒業論文を作成できる技術を身につけるとともに、応用力をつけることを目標とする。

G10:現代社会の情報資源を適切に活用するために基本的な情報処理能力を習得する。

【<行動目標：S B O>】

1. パーソナルコンピュータの基本操作ができる。
2. 電子メールの有効な利用ができる。
3. 学内LANの利用ができる。
4. ワードプロセッサを利用して、図表を張り込んだ文書を作成できる。
5. 表計算ソフトを利用して、表やグラフの作成ができる。
6. プレゼンテーションソフトを利用して、発表形式のスライドを作ることができる。
7. ホームページ作成を通じ、インターネット技術を理解する。
8. 大学生生活の中で応用する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス コンピュータの基礎 1) 利用心得	1, 8	講義・演習：濱野、寺島
2	ネットワークの利用 1) 電子メールの送受信 電子メール：電子メールの送受信	2, 3, 8	講義・演習：濱野、寺島
3	2) 学内LANの利用（共有フォルダ/ネットワークプリンタ）		
4	日本語ワードプロセッサ（Word）を用いた文書作成 1) 起動、終了、文書編集	4, 8	講義・演習：濱野、寺島
5	2) 表、図の挿入		
6	3) 応用的な使い方		
7	表計算ソフト（Excel）の基本操作 1) 起動、終了、データ入力、ファイルの保存	5, 8	講義・演習：濱野、寺島
8	2) 表作成、データ入力、数式入力		
9	3) 応用的な使い方		
10	プレゼンテーションソフト（Power Point）の利用 1) 起動、終了、ファイルの保存	6, 8	講義・演習：濱野、寺島
11	2) 図、表の挿入		
12	ホームページの作成	7, 8	講義・演習：濱野、寺島
13	1) リンク 2) 素材収集 3) アップロード		
14			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	医科系情報リテラシーVer.2	樺澤一之他	共立出版	2000年発行 2900円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業の出席状況と提出されたレポート、簡単な試験などにより総合的に評価。	【履修上の留意点】 2年以降も授業、実習、研究、各種事務手続きなどにおいて、各自必携するノート型PCを利用するので、1年のうちに基本的操作に習熟することが望ましい。1年後期の情報処理IIでは、この科目を履修したのとして授業が行われるので、必ず履修しておかなければならない。
---	---

全科共通科目 教養